

特集

これから市民病院が めざす医療とは

府中市病院機構では、平成28年度から平成31年度までの4年間の病院運営の基本計画である、「第2期中期計画」を策定しました。この計画期間中に病院機構ではどんな取り組みがなされるのでしょうか。
府中市病院機構 多田敦彦理事長に、お話を伺いました。

平成24年4月に地方独立行政法人府中市病院機構が発足し、府中市・府中市市民の両病院の運営を開始してから、4年が経過しました。

府中市病院機構では、私たちの安心・安全な日常生活を支えるため、地域の診療所や福祉・介護施設などと協力しながら、必要なサービスの提供に努めています。これまでに、移動診療車による巡回診療の開始や新・府中市市民病院の完成など、明るい話題があった一方で、勤務医の確保や病院経営の改善など、まだまだ課題も残っています。

医療とは、患者さんの人生に寄り添うもの

これからの府中市病院機構は、地域の皆さまに病院に関わっていただき、交流の場をつくるなど、地域を豊かにしていく。そのような病院にしたいと考えています。

多田敦彦理事長
昭和56年 岡山大学医学部卒
岡山大学付属病院の他、多くの病院で勤務の後、平成24年4月に地方独立行政法人府中市病院機構理事長兼府中市市民病院院長に就任。



Q これからの病院運営において何が重要だとお考えですか。

大きく分けて2つあります。これまでも両病院は、予防・救急・慢性期医療の拠点として、地域の皆さまを支えて参りました。こうした役割をさらに発展させながら、地域の皆さまに病院の情報を発信していきま。それから、両病院の経営の安定化、収支の改善も大切と考えています。

Q 両病院の経営はどういった状況ですか。

府中市市民病院では常勤医師が減少しており、経営的には厳しい状況にありますが、現場スタッフの懸命の努力のおかげで、病院としての機能を残すことができました。一方、府中市市民病院の収支状況は改善傾向にあります。

中期計画では、平成30年度での年間収支の黒字化を目標に掲げており、その達

成に向けて、これからも収入の確保と支出の削減に努力していきます。
Q 新たに取り組む事業や、特に力を入れる事業は何ですか。

府中市市民病院は、新病院になって快適な環境になったことに加え、MRIやCTなど、医療機器も充実しました。さらに多くの皆さまの来院があると見込んでいます。

人間ドックの受け入れ強化に加え、院内の食育推進レストランとコラボした健康メニューの提供など、予防医療にも力を入れていきたいです。そうした市民の健康を守る取り組みが、地産地消など地元を元気にする活動にもつながれば最高ですね。

Q 府中市市民病院も新たな取り組みがスタートするそうですが。

府中市市民病院では、定期巡回と緊急時には随時対応できる訪問介護看護事業に取り組んでいきます。この取り組みは、在宅で生活する高齢者に対し、定



訪問介護看護事業所「ささえ」

こうした仕組みをつくることで、府中市市民病院を中心に在宅生活を支える流れを作り出すことができます。と考えています。

期的にスタッフが訪問して介護・看護サービスを提供し、緊急時は24時間いつでも対応できます。
また、退院後、スムーズに在宅生活に戻れるよう「地域包括ケア病床」の導入を予定しています。この病床は、最長60日間というゆったりとした入院期間中に、退院の調整や自宅に帰るためのリハビリを行います。自宅に帰った後も、訪問介護や訪問看護、場合によっては訪問診療も可能です。

私自身、広島大学病院や岡山大学病院、川崎医科大学病院など、方々に医師の派遣をお願いしていますが、大学病院にも十分に医師がいない中で、具体的な成果を上げられていないことは残念です。しかし、1年間の限定ですが、広島県地域医療支援センターから、古川正愛先生が、週2日間の診療支援においでいただけることになり、4月から診察に加わっていただいています。

医師が足りているとは思っていません 医師の確保には、 全力を尽くしたい

Q 医師確保にも明るい兆しが見え始めたというところでしょうか。

古川先生は、広島県地域医療支援センターで、若手医師の育成や県外からの医師招聘などにも携わっておられます。一人でも多くの医師に府中市に関心を持ってもらえるよう、我々も多くのことを古川先生から学び、医師招聘に活かしたい



古川正愛先生
平成13年 自治医科大学卒
吉田総合病院など、中山間地域での勤務後、平成23年7月から広島県地域医療支援センターに勤務。
＜古川先生からのメッセージ＞
昨年の「支える医療」シンポジウムに続き、縁あって府中市市民・府中市市民両病院でお世話になることになりました。主に新規の患者さんの診察を担当します。どうぞよろしくお願ひします。

と考えています。
住民の皆さまにも、医師が魅力とやりがいを感じる環境づくりにご協力いただければ幸いです。
Q 病院ボランティアの募集もされているそうですね。
生け花、病院コンサート、院内の花の世話や清掃活動など、さまざまな活動を通じて地域の皆さまに支えていただいています。現在は外来の受付支援ボランティアを募集しています。病院スタッフも助かりますが、「地域の役に立ちたい」という皆さまの思いを形にする方法の一つになることができます。できればともうれい10月末には府中市市民病院の工事も完了します。そのときには市民参加型のイベントを開催する予定ですが、ゆくゆくは地域と病院、あるいは地域と地域をつなぐ取り組みに発展できれば面白いですね。病院の敷地で朝市を開催したり、福祉用具の展示会を開催したり、地域と病院の垣根を越えた交流をしていきたいと思っています。